

完璧にデータを保護するための3つの必須要件

CASBの改善とDLPの強化を可能にするには、正しい基盤を採用する必要があります。ここで紹介させていただく3つの必須要件を考慮することで、クラウドとモビリティの世界を前提にしたデータ保護戦略の策定が可能になります。



必須要件1:

目的に特化したSASEアーキテクチャを採用する

直面している課題

ユーザは、オフネットワークやSSLでクラウドアプリに接続するようになりました。そのような環境を前提に設計され、ビジネスクリティカルな接続を処理できる、インラインセキュリティクラウドが必要です。

ゼットスケラーの提案

ゼットスケラーのゼロトラストエクステンジは、実績のあるグローバルSASEアーキテクチャです。SSLを含むすべてのポートとプロトコルで高パフォーマンスのインラインインスペクションを提供するほか、業界最高レベルのSLAによって高い品質が保証されています。



必須要件2:

コンテキストを最大限に活用してデータ保護を強化できる方法を採用する

直面している課題

クラウドアプリから、パブリッククラウド、ファイル共有プラットフォームまでの何百ものチャンネルをデータが移動するようになりました。強力なデータ保護ポリシーの作成には、たくさんのデータコンテキストが必要です。

ゼットスケラーの提案

ゼットスケラーであれば、オフネットワークとSSLのすべてのクラウドトランザクションを追いかけて、ビジネスクリティカルデータをコントロールに必要な可視性を手に入れることができます。



JohnDoe ユーザ	prodmgmt グループ
アップロード アプリ機能	jumpshare アプリケーション
ファイル共有 URLカテゴリ	「機密」 コンテンツ
PowerPoint ファイルタイプ	本社 場所

必須要件3:

すべてのクラウドチャンネルを保護できる統合プラットフォームを採用する

直面している課題

情報の漏洩や外部への持ち出しからデータを保護するには、統一された保護アプローチが必要です。単一プラットフォームがなければ、さまざまな場所にポリシーが分断され、セキュリティギャップが生じることになります。

ゼットスケラーの提案

ゼットスケラーは、最も密接に統合されたデータ保護プラットフォームを提供することで、移動中のデータ、保存されたデータ、クラウド、管理対象外のデバイスを含むすべてのクラウドデータチャンネルのコントロールを可能にします。



詳細は、レポートをご参照ください

概要を読む